

鶴岡ロータリークラブ会報

856

1976-5-18 No.47

鶴岡ロータリークラブ 創立 昭34.6.9 承認 昭34.6.27 353地区
例会場 鶴岡市馬場町 物産館 3階ホール
例会日 毎週火曜日 午後 12.30～1.30
事務局 鶴岡市馬場町 鶴岡商工会議所内 電 0235 (22) 5775
会長 佐藤 忠 幹事 吉野 勲

◆ 点 鐘

◆ ロータリーソング (手に手つないで)

◆ ビジター・ゲスト紹介

◆ 会長報告

◆ 例会日及び会場変更

5月25日(火)を5月23日(日) 関川(金沢屋) 1時より

◆ 鶴岡西RC10周年記念

登録 11.40～12.20 式典 12.30～13.30 祝宴 14.10～15.40

◆ 第6回(最終)クラブ協議会の日時変更

6月15日(火)クラブ協議会を6月8日(火)に変更

◆ 次年度活動計画書を6月1日(火)に次年度会長へ提出のこと。

◆ 例会終了後、次期委員長会議

各委員会活動計画について

◆ 幹事報告

◆ 会場変更

八幡RC、大沢生活センター 5月22日(土) 18時

遊佐RC、遊佐小学校グラウンド 5月25日(火) PM 2時

山形西RC、山形ランドホテル2階 5月24日(月) PM 6時

山形北RC、唐松観音 5月30日(日) AM 9時

◆ 東根ロータリークラブより会報着便

◆ 次年度大会準備委員会について 次期会長 鈴木弥一郎君(後述)

◆ 会員スピーチ 鷺田幸雄君(後述)

◆ 猪苗代RC10周年記念に出席して 小花盛雄君(後述)

◆ 委員会報告 親睦委員長 板垣俊次君

◆ 昭和50年度庄内地区高額所得者次の7名の方々より多額のスマイルがありました。

斎藤栄作君、鷺田克巳君、佐藤正郎君、黒谷正夫君、早坂徳治君、石黒慶之助君、
迎田稔君

◆ 出席報告

◆ 点 鐘

TO DIGNIFY THE HUMAN BEING

人間に威信を!

次年度大会準備委員会について

次期会長 鈴木 弥 一 郎

次年度は種々事業計画がご座いますが、特に2つの受入準備委員と、2つの大会準備委員会は、年度早々の事業でご座います。依って去る11日に次年度の緊急理事会を開きまして、準備会の委員を、次の通り内定致しました。各位には何卒よろしく、ご協力の程お願い致します。

◎ 交換学生受入準備委員会		
委員 長	○高橋良士	
委 員	嶺岸光吉 安藤定助 小花盛雄 笹原桂一 五十嵐三郎 横山 昇 菅原辰吉 ○三井 徹 ○石黒慶之助 新穂光一郎 小池繁治 阿部清三(工業高校) 広報委員会1名 ○印はホストファミリーの予定	
◎ ノルウェー合唱団準備委員会 8月12日		
委員 長	鈴木弥一郎	
副委員長	○大川俊一(西RC)	
委 員	中江 亮 高橋良士 小花盛雄 内山喜一 迎田 稔 中村富昭 石川寿男 石倉健司 板垣俊次 森田清治 佐藤正郎 富樫良吉 飯白祐佑 佐藤順治 佐藤友吉 小松広穂 広報委員会1名 ○阿部光男 ○桜井 清 ○栗本敏直 ○阿部惟四郎 阿部清三(工業高校)	
総 括 山 本	◎ インターアクト大会準備委員会 8/20~8/22 於 善 宝 寺	
	委員 長	中野清吾
	委 員	安藤定助 石井敬三 斎藤信義 菅原辰吉 内山喜一 佐藤 衛 三井 徹 広報委員会1名 ○松田善三郎 ○桜井瑞男 ○阿部和信 ○林権之助 顧問教師 阿部清三(工高) 篠原孝一(高専) 本間玄良(西高) インターアクトクラブ会長他
正	◎ ローターアクト大会準備委員会 9/4~9/5	
	委員 長	市川輝雄
	委 員	上野三郎 高橋良士 皆川英二 森田清治 板垣広志 三井賢二 阿部 襄 広報委員会1名 ローターアクトクラブ会長 実行委員会関係者

『マスコミ』と倫理

鷲田幸雄

最近、マスコミに対する風当たりが強くなっております。特に問題になっておりますのは、

1. マスコミの公正中立の問題。
2. 人権と表現の問題。
3. 青少年の非行化とマスコミ。(性と暴力の扱い)

それは現代の社会—大衆社会における自我の目ざめ、権利意識の拡大、という意識変革にあわせ情報化社会における情報の氾濫が複雑にからんでおこなっていると思われま

特に性の扱いについてはきびしく批判を受けているところであり、“退廃文化から子供を守ろう”という共産党の提唱をはじめ警察庁における指導取りしまりの強化、地域婦人団体の環境浄化運動、などいろいろな活動がきかされております。

マスコミの表現の自由とのからみで、そうせつちな結論はいましめられるところであろうが、よく座談会などで、「マスコミは一体何している。マスコミが一体連繫をとって本当にこの問題にあたっているのかどうか。全く野放しではないか。」など質問されることがあります。

この点について言えば、『マスコミ倫理懇談会』が組織されております。マスコミ全体の倫理の向上と言論表現の自由の確保を目的として設立されたものであります。その他、マスコミ各界では「新聞協会、放送番組向上委員会、映倫、日本雑誌協会、レコード製作管理委員会、日本広告審査機構」など、それぞれの分野でこの問題について真剣に討議されています。

私の場合、NHKに勤務しておりますので、さらにNHKの場合について申し上げますと、NHKでは週大体1,700本の番組を放送しているわけですが、番組は野放しで送りっぱなしになっているわけではございません。制作現場には番組制作責任者が現場でチェックしており、更には「考査室」というセクションで制作現場からはなれて客観的な立場からたえずチェックしています。

番組の内容、表現が適切であるかどうか。台本、録音、録画、フィルム、スタジオリハーサルの段階から事前に考査し、さらに多くの投書などの反響をふまえての事後考査をして個々の番組について反省しているわけです。

それでは一体番組考査の基準は何か。番組のチェック・ポイントは何か。

それはNHKの場合、「放送法」によって設立された特殊法人であり「放送法」によって拘束されるのは当然です。ここで放送法の中で番組にかかわる条文の一部を紹介しますと、

第44条の中で

NHKは国内放送番組の編集に当っては次の各号の定めるところによらなければならない。

- (イ) 公安及び善良な風俗を害しないこと。
- (ロ) 政治的に公平であること。
- (ハ) 報道は事実をまげないですること。
- (ニ) 意見が対立する問題についてはできるだけ多くの角度から論点を明らかにすること。

このように述べられており

第3条「放送番組は法律の定める権限に基づく場合でなければ何人からも干渉され、又規律されることはない。」

と番組編集の自由を保障しております。

この法の精神にのっとり番組を制作するわけですが、部内的にはさらに具体的に番組制作の心がまえとして、国内放送番組基準、国際放送番組基準を定めております。

内容は13項目からなっており、①人格、人権、名誉。②人種、民族、国際関係。③宗教。④政治、経済。⑤論争、裁判。⑥社会生活。⑦家庭。⑧風俗。⑨犯罪。⑩表現。⑪広告禁止。⑫懸賞。⑬訂正放送と制作、考査の判断の基準が示されております。

その他、外部の意見吸収の場として、番組審議会、NHK懇話会、視聴者懇談会などがあり、その他、全国から一般視聴者の代表が指定された毎日の番組について素直な意見、感想を報告してもらい一般モニター（700名）。特集番組の臨時モニター、学識経験者の専門モニター（400名）。おります。

その他、全国から番組に対する投書、年間170,000通。それに新聞、雑誌などの反響をあわせて番組改善の参考にさせてもらっています。又「新譜審査会」がありまして、毎月発売されるレコードについてその放送の適否を判断し公共放送としての品位の保持につとめております。

最後に時間が少しありますので、前にふれました人権と表現について一言申し上げたいと思います。

言葉は歴史的背景の中に生きつづけるものと思いますが、昔、何でもなく使われた言葉が現在では人格人権をそこない差別感や侮蔑感を与えるものになっているものがあります。（女中小使い、百姓、土方、坊主……）。或いは肉体的、精神的障害を扱う場合（めくら、つんば、ちんば、びっこ……など）その表現には特に注意し、身内の人々の気持を十分に忖度しなければなりません。又、不用意な発言（裏日本、日本のチベット、後進国など）によって傷つけることのないようにと戒めています。

そのため、いろいろと用語の言い換え（お手伝い、用務員、農家の人、農民、僧侶）、（目

の不自由な、耳の不自由な、足の不自由な)、(日本海側、岩手県北部、開発途上国)を図っておりますが、問題は用語の言いかえで済むものではなく、我々番組をつくる者一人一人が本当に人権を尊重するという気持ちがなければいけないと思っています。単的にこんな風に言っております。「人の嫌がる言葉は使うまい。」と。

「表現の自由」とよく言われますが、それも無制限な自由ではないと思っていますし、本当に良識あるバランス感覚のある放送番組を目標に努力をつづけていきたいと思っています。

猪苗代R C10周年記念に参加して

小 花 盛 雄

一昨5月16日猪苗代R Cの10周年記念式典に参加して参りました。非常に熱心な会員であり親しい友人の佐瀬亘君のいるクラブだからです。この記念式典は非常にユニークな運営でありまして、ご馳走は山菜料理が主で、舞たけ、ソグイ、ドーホ、また天ぷらでは椿の花、たらの芽等々、私には大変珍しいものばかりでした。

記念事業のなかに、磐梯学園(精薄児)への図書寄贈、山火事防止に携帯用消火器26個寄贈及び猪苗代高校卒業生で、特に学術優秀にしてスポーツの功労者を対照にして、本年度より猪苗代ロータリークラブ賞を設定したこと。又この10年間各年度に於いて優秀なる活動をした会員の表彰、並びに会員の事業所に於ける優良従業員の表彰等がありました。

尚、この表彰状の文章、これ又、極めてユニークなものでした。特に友人佐瀬亘君は私の予想通り最大級の表彰状を受領しました。

その表彰の文に曰ク

——「佐瀬なくして猪苗代R Cなし」の言の如くあなたの功績は誠に鮮烈であります。その膨大なる業績は偉大であり…「若しロータリーを知らんと欲すれば、先ず佐瀬を知れ」と吾等のロータリーソングであります。そして表彰者として会長、副会長始め会員全員の名前ある誠に珍しい、素晴らしい表彰状でありました。

次にバナーの交換をして参りましたので、ご披露致します。

バナー贈呈のことは

ここ猪苗代は東京から特急で3時間余、もう郊外並である。そこに比類のない山と湖が神代そのままの姿で待っている。秀峰磐梯に思わず襟を正し、天鏡

猪苗代湖に母を想い、瑠璃色に輝く神秘の五色沼に佇めば凡百の煩惱消滅して、ロータリアンの基本型に復元すること妙なり。真にロータリアンとならんとする人は是非当地に來りて済度されることを……。

このパナーは天に『磐梯山』、地に『猪苗代湖』、人に『野口英世』（裏面の筆蹟を御覽下さい）、この天地人を黄金のロータリーマークで結合するという当クラブの理想を表現したものです。

いまこれを贈呈し『つくる友垣』たる光榮を得ますことを無上の喜びといたします。

R I 第353地区

猪苗代ロータリークラブ

出 席 報 告			
本日の出席	会 員 数 73名 出 席 数 49名 出 席 率 67.12%	欠席者	皆川君、阿部(公)君、早坂(徳)君、半田君、清水君、吉野君、五十嵐(三)君、五十嵐(伊)君、海東君、玉城君、上林君、風間君、小松君、角田君、中野(清)君、齋藤(栄)君、齋藤(得)君、齋藤(信)君、佐藤(伊)君、佐藤(正)君、石倉君、高橋(正)君、横山君、佐藤(宇)君
前回の出席	前回出席率 78.08% 修正出席数 68名 確定出席率 93.15%	マーク アップ	阿部(襄)君、佐藤(忠)君—酒田東RC 板垣(広)君—八幡RC 笹原君、藪田君—仙台RC 五十嵐(三)君、齋藤(信)君、中村君、新穂君、横山君、内山君—鶴岡西RC
ビジター	佐藤昭吉君、今野義介君—温海RC 佐藤成生君、羽根田正吉君、中野順一郎君、菅原年雄君、中沢秀雄君—鶴岡西RC		